



JINSEKI KOGENのコト



五感で味わう

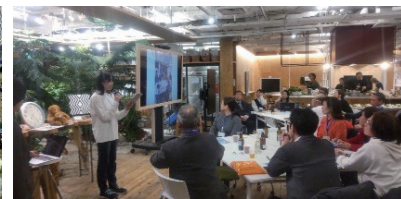
魅力 ギューギュー!

まちの推し

トマトやいちご、神石牛をはじめ、自然豊かな神石高原町らしい”推し”がたくさん。



まちの元気



町章



町花 ヒゴタイ



町木 ヤマボウシ

人口 7,764人 (R7.3.1現在)
男:3,746人 女:4,018人
世帯数 3,700世帯
面積 381.98km²
地勢 広島県の東部に位置し、北は庄原市、南は福山市、東は岡山県、西は府中市と接し標高は400m~500m

神石高原町 JINSEKIKOGEN 20th 町勢要覧

神石高原町らしさを未来へ繋ぐ





ごあいさつ

神石高原町は、7,700人の町民一人一人がいきいきと暮らす、自然のやさしさ、人の温もりがある町です。

神石高原町にしかない景色・歴史や文化・人は、関係人口を含め多くの方を惹きつけ、少しずつファンを拡大しています。

令和6年11月に合併20年の節目を迎え、これからも、神石高原町だからこそその多彩なアクションで、小さいながらも、健康で豊かさと幸せを実感できるまちづくりを進めます。

神石高原町長 入江 嘉則

町長の政策指針

ACTIONS

『神石高原町らしさを未来に繋ぐ』

安心・安全の確保

近年、自然災害が激甚化し自治体の責任は益々増大しています。医療・交通などのセーフティーネット、担い手不足など中山間地域ならではの課題へも、地域コミュニティの強さを活かして取組を進めていきます。

縮充社会の形成

縮小する中でも充実した地域社会づくりを、共創により進めていきます。地域が得意とする役割、行政にしか担えない役割を明確化し、一人一人がまちづくりに関わることで、幸福度の向上をめざします。

1 防災力の強化

本町では西日本豪雨災害を教訓に、大規模地震等の発生に備え、人命を守り、被害の最小化を図る取組を行っています。役場本庁舎を拠点とするハード面での防災機能強化と避難所等の環境整備。支援人材の教育や地域防災組織を通じた防災意識の向上など、誰でもできる備えの全体化を進めます。



2 医療・福祉の充実

高齢化率50%の本町では、持続可能なまちづくりを進める上で、高齢者の経験や知恵は大きなアドバンテージです。デジタル技術や遠隔医療、対面診療による心身のケアのベストミックスをさぐりながら、中山間地域の医療と福祉を守り、いつまでも若々しく、高齢者が健康的で自立した生活ができるまちを実現していきます。

3 教育と子育て支援

豊かな自然に囲まれ、子どもたちの心と体が健康で、家族が安心して暮らせることを最優先に考えます。子どもの人数が少ないことを逆にとり、児童・生徒一人一人の夢や個性を中心に据え、「知りたい・挑戦したい気持ち」を育むため、自主性と自由度をもって進めています。例として油木高校での取組は、将来の自己実現へ向け、絶好の挑戦フィールドとなっています。

5 人口減少対策

過疎化のトップランナーである本町では、国レベルの課題である人口減少社会において、生産活動が縮小に向かい、税収をはじめとした「経済のパイ」が益々小さくなっています。小さいながら成長戦略を描き、関係人口等の知見を活かしたまちづくりを進めます。



実現へ向けた道標 ～持続可能な未来へ～

町一般会計決算額の推移(百万円)

H29	H30	R1(H31)	R2	R3	R4	R5
10,604	11,586	11,171	13,426	13,496	12,330	12,142

年度別人口(上段:人)・高齢化率(下段:%)の推移

H30	R1(H31)	R2	R3	R4	R5	R6
9,263	9,026	8,818	8,631	8,419	8,166	7,961
46.55	46.90	47.35	48.16	49.11	49.54	49.98

神石高原町らしさを未来に繋ぐ

- (1)安心・安全の確保
- (2)縮充社会の形成

- ①防災力の強化
- ②医療・福祉の充実
- ③教育と子育て支援
- ④農林商工業と観光振興
- ⑤人口減少対策

子育て支援Close-up!

FUTURE!

神石高原町の人口は、令和32(2050)年時において3,815人と推計されています。

町では令和7年度から第3次長期総合計画をスタートさせ、様々な事業に取り組んでいきますが、転入転出の社会増減をゼロにすることは、大きな課題となっています。

このような状況を打開し、次世代につないでいくため、あらためて本町の政策の一丁目一番地である「子育て」と「教育」に注力していきます。

結婚新生活支援事業

令和6年1月以降に入籍した39歳以下の新婚世帯の新居への引越し費用、家賃、リフォーム費用を最大**60万円**まで支援
※年齢により助成額に上限あり

高等学校等卒業祝い金5万円

高等学校等を卒業する生徒の保護者に祝い金**5万円**を支給

高等学校等入学祝い金10万円

高等学校等に入学する生徒の保護者に祝い金**10万円**を支給

各種検定料助成

小・中・高校生が受検する英語、漢字、数学、TOEIC、TOEFL、IELTSの各検定受検料を合否に関わらず**回数制限なし**で**全額助成**※対象者:町内在住者

ピロリ菌検査・治療費助成

中学2年生を対象に、ピロリ菌検査と除菌治療費を**助成**(上限あり)

乳幼児・子ども医療無料化

0歳から18歳到達後最初の3月末までの医療費を**完全無料化**

1歳誕生祝い金20万円

1歳の誕生日を迎えられたお子さんの保護者に祝い金**20万円**を支給

保育料無料化

町内保育所の保育料を**完全無料化**
※認定こども園を含む。

小学校入学祝い金10万円

小学校に入学する児童の保護者に祝い金**10万円**を支給

中学校入学祝い金10万円

中学校に入学する児童の保護者に祝い金**10万円**を支給

